

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 10 日

Table with columns for 事務事業名, 学校施設開放事業 (大和), 事業区分, 担当, 政策体系, 総合計画の施策名, 0304 生涯スポーツ活動の振興, 予算科目, 会計, 款, 項, 目, 事業, 細, 一般会計, 体育館管理事業 (大), 事業期間, 単年度繰返し (平成17年度~), 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当が行う業務の内容・やり方・手順. Content includes details about sports facility opening and administrative procedures.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes data for school opening and citizen participation.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts and costs from 27 to 31 years. Columns include 27年度 (実績), 28年度 (実績), 29年度 (計画), 30年度 (目標), 31年度 (目標), 期間限定総投入量. Rows include 国庫支出金, 県支出金, 地方債, 使用料・手数料, その他, 一般財源, 事業費計 (A), 正規職員従事人数, 述べ業務時間, 人件費計 (B), トータルコスト (A)+(B).

Table showing 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円). Rows include 07 賃金 and 合計.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する. A list of activities is provided: 主要事業, 市長マニフェスト, 未来PJ事業, 合併建設計画事業.

事務事業名	学校施設開放事業（大和）	事務事業No.	30402000092	所属課	スポーツ振興課
-------	--------------	---------	-------------	-----	---------

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	昭和51年にスポーツ団体の活動場所を確保するために開始された。平成28年11月から大和中学校の体育館が老朽化により使用できなくなったため、中学校が優先的に使用することになり維持管理の予算を学校教育課に移管した。
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	今まで利用していた団体から日曜日、祝日に開催していた各団体の大会等が開催できなくなってしまったので、開催できるよう学校に協力してもらいたい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	大和中、大國小の利用団体はあったが、雨引小の夜間利用団体は、ほとんど無かった。7月から大和中体育館が使用できなくなるので、雨引小の利用を勧めることで調整していく。
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市民がスポーツを実施する機会が増え、健康増進、地域のコミュニケーションの場の提供になっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民に対してスポーツのできる場を提供することは、健康増進につながる。
有効性	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 大國小小学校体育館は、利用できる余裕があるので利用者の増加を図る。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民がスポーツを実施する機会がなくなり、健康増進、地域のコミュニケーションの場の提供ができなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業・統廃合の余地はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 夜間管理人の賃金だけであり削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校施設の利用料金は無料であるが、他の体育施設は有料のため公平とはいえない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括（振り返り、反省点）																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	学校施設の開放により市民のスポーツをする機会の提供に寄与している。利用団体の調整により多くの利用を図る。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
<ul style="list-style-type: none"> 大和中体育館が使用不可になったため、雨引小・大國小体育館の利用件数が増えた。大國小体育館は、利用できる余裕があるので利用者の増加が望める。 受益者負担の観点から、電気料相当の負担をいただくよう進めていくことが必要である。 	(6) 事務事業優先度評価結果																							
	成果優先度評価結果 ③ コスト削減優先度評価結果 ⑨																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A：継続（現状維持） C：終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B：継続（改革改善を行う） D：2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>